



ふくろう先生に  
聞いてみよう!

## 私の登山「20代からの登山と大自然」

富山ネイチャークラブ会員 蒲田 政彦

山登りに魅せられて50年が過ぎようとしています。始めて登山を経験したのは21歳のとき。夏の登山シーズンが終わり、立山周辺で行われたゴミを拾う清掃活動に、当時加入していた婦中青年団から参加したときです。しかも一泊の登山でした。二日間とも天気が良く、今から思えば、ルンルン気分でゴミを拾っていたような気がします。

稜線のゴミを拾いながら、後立山連峰の雄大さに呑み込まれてしまいました。朝日岳や白馬岳、五竜岳、鹿島槍ヶ岳、針ノ木岳、そして富士山などの説明を忘れることが出来ません。



特にご来光を見た時、自然と手を合わせて拝みました。体一杯にご来光を受け、その神々しさに心を奪われ、感動しました。以来、北アルプスの山々（後立山連峰、剣岳、大日連峰、五色ヶ原、薬師岳、槍ヶ岳）から鳥海山、月山等を誘われるままに登るようになりました。

しかし素人だからこそ、危険な経験もしました。24歳の時、4人でテントを担ぎ室堂へ春山スキーに行った時のことです。次の朝起きると吹雪になっていて、昼前にはテントが埋まってしまいました。雪洞を掘って天候の回復を待ちましたが、午後2時頃、天狗平山荘を目指して下山することにしました。薄暗くなった頃に山荘を探し当てることができ、ホッとしました。吹雪の中で下山方向を間違えていたら、大変なことになっていたかもしれません。

原因は、風を避けるため低い場所にテントを張った事でした。吹き溜まりになったのです。吹雪の中を下山して、うまく山荘を見付けることが出来るのか？と、雪洞の中で不安と緊張で過ごした時間を、今でも忘れることは出来ません。

楽しいこともいっぱいありました。新緑に紅葉、急登の後の爽快な尾根歩き、雷鳥やオコジョに会える楽しみ等々。特に同宿した登山者同士の語らいは楽しいものでした。

65歳を過ぎた頃から山歩きが変わりました。足元の小さな草花を見る様になりました。富山ネイチャークラブに入会し、草花の説明を聞き、写真を撮りながらのゆっくり歩きになりました。毎月の例会を楽しみにしています。

みんなと一緒にいけるように、ウォーキングで足慣らしをしている、今日この頃です。



## 「春の森でチャレンジ」

平成 28 年 4 月 23 日 (土)

杉江 真佐美

『春の森でチャレンジ』に、ネイチャーゲームリーダーとして参加させていただきました。

「動物質問室」ならぬ「山菜質問室」。森の中を散策しながら、グループに割り当てられた山菜をあてて探すゲームでしたが、正直、初めてのリーダー体験。

なにをどうやったらいいのかわからなかったのですが、一緒に組んでくださった〈花じい〉さんのおかげで、いい勉強をさせていただきました。〈花じい〉さんは、植物のことを知っているだけではなく、参加者への言葉かけも素晴らしいかったです。ネイチャーゲームの大事な理念でもある

「五感をフルに使って自然を感じ、自然の喜びを分かち合う」を目の前で見せてくれました。

サンショウやクロモジの匂いを嗅ぎ、鳥の鳴き声に耳を傾け、イタドリやセリ、ミツバをかじり…。山には危険な毒蛇やウルシのようなかぶれる木々もあるけれど、しっかりそのものたちの特徴を知っておれば、やたらめったら恐れる必要のないことも…。ただ自分の持っている知識の押し付けではなく、参加者が自然に触れて、楽しんで、気付けるように誘導する…。おかげで、私もしっかり一参加者として、楽しませていただきました。

散策のあとは山菜バイキング♪♪♪。メニューは（焼き筍に筍の煮物、コゴミやコシアブラの天ぷら、ヨモギのおやき、ノビルのギョーザ、コゴミのパンピザ、ワラビのさざなみあえ、フキのかりんとう等々盛りだくさん）。五感の一つ〈味覚〉まで満足させてもらい、満たされまくりの1日でした。

そうそう、〈花じい〉さん♡ 自分が食べるために持ってこられたコシアブラ入りおにぎりをみんなにシェアしてくれて、分かち合い精神満載の方でしたねえ～。参加された皆さんのとても嬉しそうな顔が印象的でした。私も、もっともっと自然を楽しんで、それをお伝えできる人になりたいなあ。



(この質問はアケビの若芽かな?)



(おやきタイム)

## 「新緑の里山ハイキング」

平成 28 年 5 月 1 日 (日)

ナチュラリスト じろう会 滝上 善市

さわやかに緑の風がそよぎ、散策にはいい天候になりました。自然塾の会の皆さんと、婦中ふるさと自然公園から古洞の森を抜けてねいの里に戻ってくるという約7kmのハイキングに参加しました。参加者は34名。草花の得意な人、樹木の得意な人、昆虫の得意な人、野鳥が得意な人、全部得意な人に交じり、私のようなよく知らない者で構成されていました。

自然塾の会長や副会長、会員の方々が解説されました。ところが、参加者から講師への質問の内容が高度で、質問の内容も理解できない自分がありました。当然ながら答えも理解できる場所までいっておらず、頭の中はたちまちオーバーフローです。

驚かされたことがたくさんありましたが、特に印象に残っていることは、誰かが「サシバだっ!」と言われました。私は下を見ながら歩いており、顔を上げると点のような鳥が舞っています。この状態で野鳥の種類が分かるのかと感動しました。また、昆虫なども撮影できるものは写真にして図鑑で調べようと思いましたが、手持ちの図鑑に載っていない昆虫が多く、あらためて自然の奥深さを感じております。

この時期には珍しい植物としてヒメハギを教えてもらい、野鳥はオオルリが迎えてくれました。私の満足度は120%でした。来年はもう少し分かるようになっている自分を期待し想像しています。



(ヒメハギ)

## 「愛鳥週間・バードウォッチング」

平成 28 年 5 月 15 日 (日)



(何が見えるのかな?)

開会式の後、鳥や草花などを観察しながら天文台の方へ散策しました。どんぐり橋を渡ったところで鳥合わせ。20種類の野鳥の姿や鳴き声を観察できました。ショートコースの人はここで解散。残った人は林の中を観察しながらダムサイトへ向かって一周し、サンショウクイやセンダイムシクイなども観察できました。



(新緑の中、囀りを聞きながら)

## 「ねいの里生き物調査」

平成 28 年 5 月 22 日 (日)



(どんぐりの赤ちゃんを探す)

今年、主にジュニアを対象に企画した『ねいの里生き物調査』4回シリーズの1回目。〈花の観察・植物の生き方と戦略〉をテーマに、オリエンテーリング形式で行い、ポイントの問題について観察しながら答えていきました。どんぐりの赤ちゃんを探したり、シロシタホタルガの幼虫を探したり、講師役の〈花じい〉こと石澤さんのウンチュクを交えた楽しい解説でした。今回、ねいの里でなかなか観察できなかったホタルガの幼虫を観察することができま



(ホタルガの幼虫)

## 「縄ヶ池の観察会」

平成 28 年 6 月 5 日 (日)

ナチュラリスト じろう会 出村 尚子

平地は 25℃を超える日でしたが、縄ヶ池周辺はひんやりとして、鳥の囀りが聞こえてくる穏やかな雰囲気でした。

今回は参加者が少なく、お陰様でゆっくりと植物や鳥をみることができました。コアジサイは紫色の蕾がたくさん見られ、ウスバシロチョウやサカハチチョウを間近で見ることができました。鳥の姿はなかなか見えませんが、オオルリやサンショウクイ、カッコウ、ツツドリなどたくさんの声を聞くことができました。



(咲き始めていたコアジサイ)



(サカハチチョウ：春型)

昼食休憩のつくばね森林公園ではアカゲラの巣立ちを見ようとしている方がたくさんおられました。私はコゲラしか見ることができませんでしたが、静かに自然の中にと、いろいろな出会いがあるのだなあと感じました。

機会があればまた参加してみたいと思います。いい一日でした。

## 「竹細工づくりとヘイケボタル観賞」

平成 28 年 6 月 18、25 日 (土)



(何ができるのかな?)

今年はねいの里でもホタルの発生が早く、6月初めからたくさん出ていました。行事本番にいくなくなるのでは?と、ヤキモキしましたが、それなりに見ることができ、ほっとしました。竹細工も盛況で、用意された竹を切ったり、割ったり、楽しめました(中にはおぼつかない手付でノコを引く人もおられました…。)



(こんなものが)



## 豆知識

### 〈偏食をするものたち〉

私たちは「偏食をすると健康に良くない」と言いますが、偏食を選択した生き物もいます。蛾や蝶もその一つで、幼虫は特定の植物しか食べないものがたくさんいます。食べる植物を食草・食樹と言います。偏食することで食料をめぐる競争を回避しているといいますが、食草・食樹が無くなると生きていけなくなるリスクも背負っています。本当のところはどうなのでしょう。食草・食樹との関係を知っていると、昆虫などを探するときの役に立ちますよ。

ねいの里での食草・食樹との関係の例……キアゲハ：セリ科植物、ギフチョウ：ヒメカンアオイ、シロシタホタルガ：タンナサワフタギ、ホタルガ：ヒサカキ、ヤママユガ：ブナ科植物

## ねいの里行事案内 (ねいの里ホームページで活動紹介しています。)

- 7月 27・28日(水・木)「夏休み自由研究支援教室」 参加できるのはどちらか1日です。  
9:30～15:30 集合場所：ねいの里 定員：1日あたり5名(計10名)
- 8月 7日(日)「ねいの里生き物調査・トンボの調査と標本作り」  
9:30～12:00 集合場所：ねいの里 定員：20名
- 8月 20日(土)「夜の昆虫大探検」  
17:00～20:00 集合場所：ねいの里
- 9月 4日(日)「有峰の自然を探る・アサギマダラ調査」ジュニアナチュラリスト支援行事  
8:00～17:00 集合場所：富山駅北口、立山アルペン村 定員：20名
- 10月 2日(日)「キノコ狩りとキノコ鍋を楽しむ」  
10:00～12:00 集合場所：ねいの里 キノコ鍋の試食定員：300名  
(材料費として1食200円必要)

〈行事への参加希望の方は、ねいの里までお申し込み下さい。〉

## ■ 企画展

- 7月 1日～8月 3日 富山県自然保護協会『環境写真展』
- 7月 13日～8月 22日 県内のカブト・クワガタ展
- 8月 5日～8月 15日 環境月間ポスター展
- 8月 24日～9月 26日 秋の鳴く虫展

## ■ 訂正とお詫び ■

前号ふくろう通信(第41号)の『春の七草頒布会』のなかで、コオニタビラコと表記するところをコニタビラコと誤記していました。訂正してお詫びいたします。

## ■ お願い ■

- 「ふくろう通信作成への協力をお願い」  
日頃思っていること、人に話したいことを「ふくろう通信」に載せてみませんか。  
皆さんからの投稿をお待ちしています。
- 会員の駐車場利用について  
会員の方は、「ねいの里」行事への参加や施設の利用を前提に、ナチュラリスト駐車場を利用来ます。

(エゴノネコアシ)



発行 富山県自然博物館ねいの里 館長 富永 宣宏  
〒939-2632 富山県富山市婦中町吉住1-1  
Tel 076-469-5252 / メールアドレス shizen@toyamap.or.jp  
ホームページ <http://www.toyamap.or.jp/shizen/>